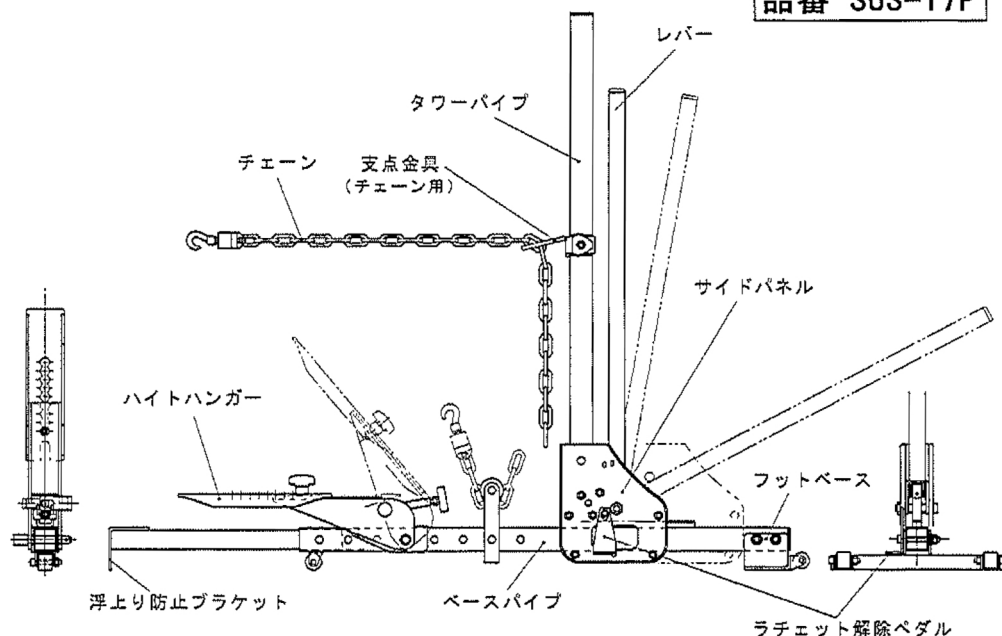


# プルーラMAX取扱説明書

品番 SUS-17P



## 安全のため必ずお守りください

- ご使用前に、この説明書の「安全のため必ずお守りください」をお読みにになり、正しく安全にお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ずお守りください。
- お読みにになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管して下さい。
- 表示と記号の意味は次の通りになっています。



### 警告

この表示は、誤った取扱いをすると、死亡・重症などの可能性が想定される内容を示しています。



### 注意

この表示は、誤った取扱いをすると、傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



指示に従い必ず行う



禁止の通告

## 警告

付属の部材以外は絶対に使用しないで下さい。

- 作業中に破損した場合に飛散して非常に危険ですので絶対に使わないで下さい。



チェーンを張って作業中は引張り方向側にご注意下さい。

- 作業中に外れた場合に危険ですので必要に応じて保護具をご使用下さい。



スライドする部分や回転する部分には手を入れないようにして下さい。

- 作業中に外れた場合に危険です。手の、はさみ込み等で事故が起きる可能性があります。



チェーンをハンマー等で叩かないで下さい。

- チェーンが外れ反動で飛んで非常に危険です。



不正な改造は絶対にしないで下さい。



## 注意

各ネジ部分、スライド部分は作業前に異常が無いか必ず点検して下さい。

- ネジが外れると思わぬ事故になります。



ハイトハンガーはしっかり固定して下さい。

- 固定が悪いと力を掛けた場合に反動で機器の移動があり危険です。



支点金具はしっかり固定して下さい。

- 固定が悪いと力を掛けた場合に反動で機器の移動があり危険です。



引き出し側のフックは確実に固定して下さい。

- 固定が悪いとチェーンが飛び思わぬ事故になります。



作業中はラチェット解除バーを操作しないで下さい。

- ラチェット解除バーは作業中に下げたり、誤って踏まないでください。作業中レバーは垂直位置まで戻さないで下さい。作業中にラチェットが解除されると危険です。



レバーハンドルに必要以上の力を掛けしないで下さい。

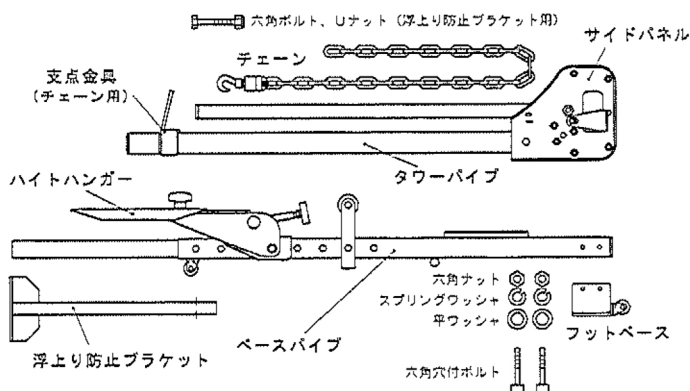
- 故障の原因になります。



# 組立順序

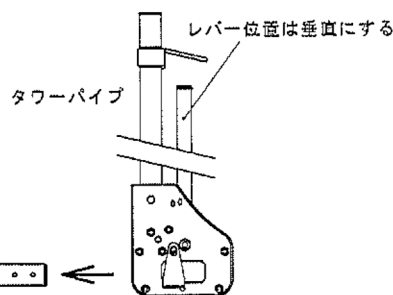
## ①部材のチェック

梱包を開けたら部材のチェックをして下さい。

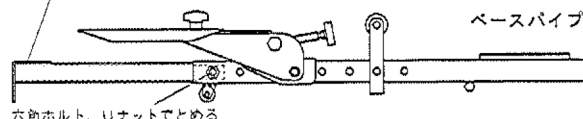


## ②タワーパイプとベースパイプの組付

タワーパイプをベースパイプ後端より差し込む。

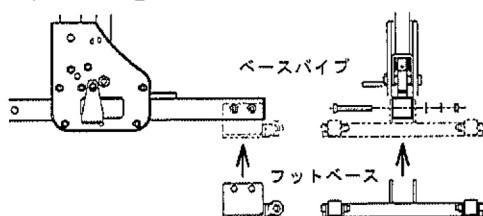


浮り防止ブラケット



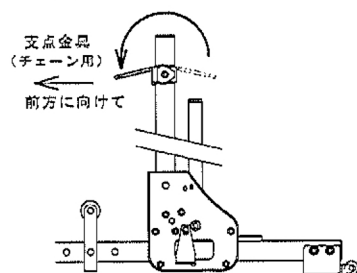
## ③フットベースとベースパイプの組付

フットベースをベースパイプに、ネジで締結する。



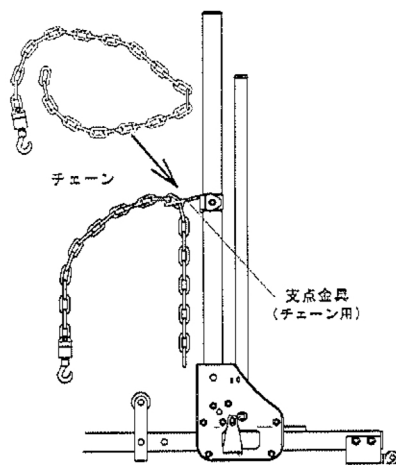
## ④支点金具の向きを変える

支点金具をはずし向きを前方に変えて入れる。



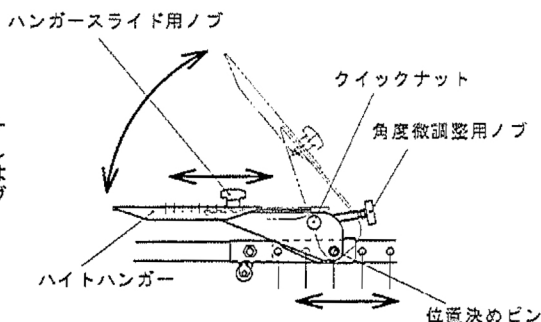
## ⑤チェーンの取付け

チェーンを支点金具のダルマ穴に通し取付ける。



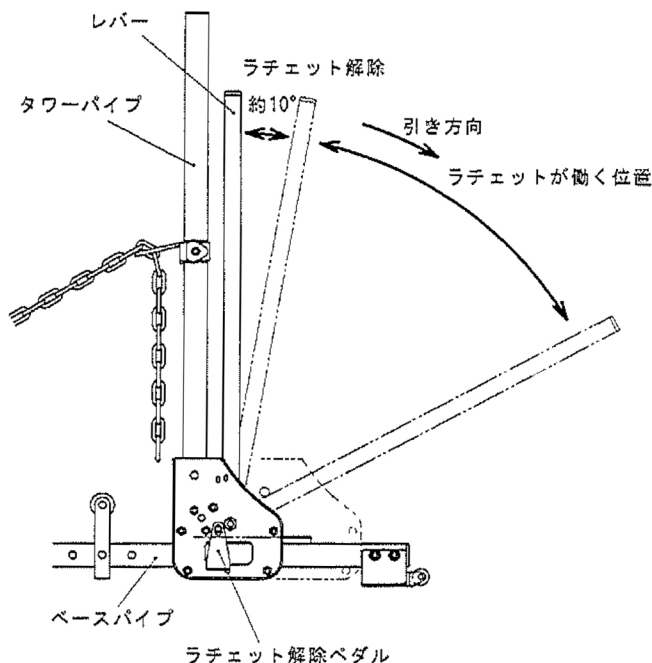
## ・ハンガー部調整（セット）方法

- ・位置決めピンの着脱によりハンガーユニットのベースパイプに対する位置を決める。
- ・ハイトハンガー先端を手で持ち、クイックナットを押し、ハンガーの上向き角度を調整しクイックナットをはなし（クイックナットはバネにて戻ります）固定する。微調整はノブにて行う。
- ・ハンガースライド用ノブを約5mmくらいゆるめ、前後方向の位置を調整しノブを締め固定する。



## ・チェーン引き、及び解除方法

- ・ブルーラ本体を修理箇所位置に直角に置く。
- ・ハンガーを調整する。
- ・タワーパイプを（レバー垂直位置にてラチェット解除状態）最前進させる。
- ・フックをPワッシャ部棒に引掛け、チェーンを支点金具、ダルマ穴部に通す（チェーンはできる限り、たるみを取る）
- ・修理部、板金の状態を見ながら、レバーを引きタワーパイプの移動により、へこみ部分を引く。
- ・その際レバーはラチェットが働く範囲にてスイングさせ作業をする。
- ・作業終了後は、レバーを軽く引き「ラチェット解除ペダル」を軽く踏み込み、ゆっくりとレバーを垂直位置まで戻す。



## ワンポイントアドバイス!!

### 作業終了後のチェーン緩ませ方

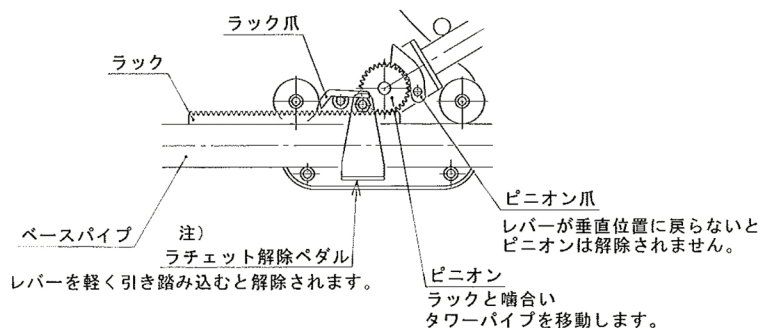
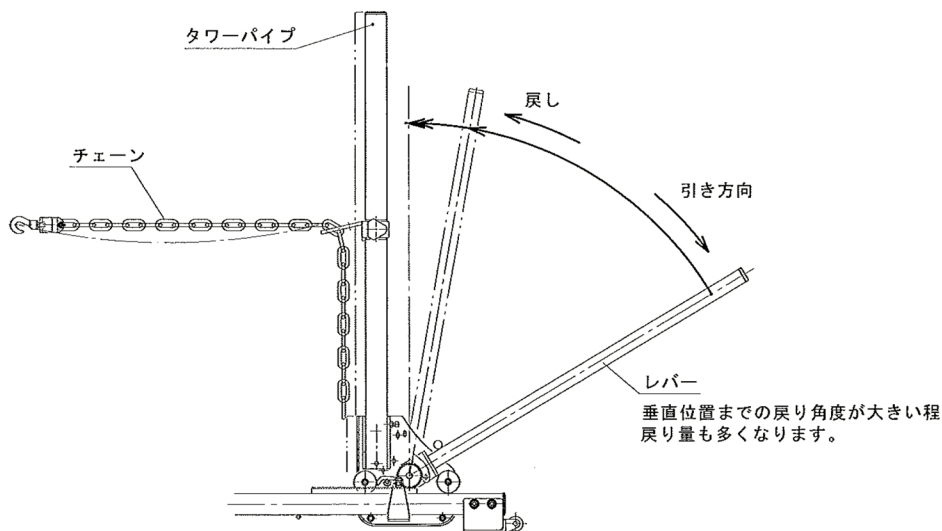
作業終了後はレバーを軽く引き「ラチェット解除ペダル」を軽く踏み込みますが、レバーが垂直に近い位置と、水平に近い位置では、タワーパイプの戻る距離が違います。

チェーンをより多く緩めたい場合は、レバーを水平近くより戻すほうが、より緩むため、チェーンを張る際にレバーを水平近くになるよう張るのがポイントです。

### ご注意

ラチェット解除ペダルは安全のため、チェーンが張っている時には、解除されにくく作られていますが、誤って踏み込まぬようご注意ください。

解除する際には、必ずレバーを軽く引き、解除ペダルは軽く踏むだけで解除されます。



機構部詳細